

[トップ](#)[熊本](#)[全国](#)[エンタメ](#)[動画](#)[地方選速報](#)[天気・気象](#)[防災・災害](#)[ニュース・話題](#)[速報](#)[ビジネス・経済](#)[スポーツ](#)[文化・芸能](#)[医療・健康](#)[教育・子育て](#)[事件・事故](#)[おくやみ](#)[地方選速報](#)[休日当番医](#)

## 「このままでは火事に…」 不安にさせて契約迫る 熊本県内で急増 「点検商法」の手口とは？

熊本日日新聞 2025年8月7日 11:45

「このままでは火事になります」。自宅を訪れた業者から、不安につけこみ契約を迫られた一。このような「点検商法」に関する相談が熊本県消費生活センターに多数寄せられている。最近では特に家の分電盤に関する相談が増加しており、全国的にも同様のトラブルが急増している。センターは「その場ですぐに契約せず、周囲に相談するなど慎重に対応してほしい」と呼びかけている。

県北の70代女性によると「分電盤を点検しなければならない」と業者から電話があり、翌日、作業服を着た男性2人が訪れた。業者は「震災の時、あれがいけなかった。13～15年で交換することになっている」と説明。分電盤を確認してすぐ「これはいかん。取り換えないと」と言い、その場で約12万円の契約書を作成した。

分電盤に関する資料はなく、料金も「良いものを付ければ15万円だとか、ころころ変わった」と女性。それ以上に気になったのは同居する息子の職業や家にいる時間を聞かれたことだ。「なんで息子が関係あるのか。最近では強盗事件が多く、心配で夜も眠れない」。「震災」が何を指すのかも分からず、怪しいと思った女性は県消費生活センターに相談し、対応を検討している。

九州電気保安協会（福岡市）によると、分電盤などは電力会社が電気事業法に基づいて4年に1回点検するよう義務付けられており、同協会などが業務を受託している。点検は無償で、不具合があれば本人が電気工事店に交換を依頼することになっている。

協会の担当者は「九州各県で分電盤のトラブルが増えている。点検は私たちが実施しており、定期交換は不要。不具合がない限り、経年による交換は勧めていない」としている。

分電盤に関する相談は2024年度から全国で急増。国民生活センターによると、昨年11月末時点で前年同期比25倍となる461件の相談が寄せられている。熊本県消費生活センターには本年度、8月4日までに10件が寄せられ、特に7月下旬から菊池地域を中心に増えているという。

県内の点検商法に関する相談は21年度23件、22年度17件、23年度24件だったが、24年度に62件と急増。このうち相談者は80代以上21人、70代12人、60代7人と、高齢者が半数以上を占める。

24年度は50件が給湯器に関するもの。熊本市の70代男性宅には5月下旬、業者が飛び込みで「給湯器が古いから交換しないか」と訪問。「今なら140万円を半額にする。内金を入れれば、追加料金を払わなくて済む」と持ちかけた。

男性は後日契約し、その翌日に40万円、その後30万円を手渡したが、工事日は確定しないまま。催促すると7月下旬に工事日を連絡すると回答があったが、その後も連絡がないため県消費生活センターに相談し、契約解除を申し出た。

男性は「『特約店』を『特約点』と書くなど契約書は不備だらけ。値引きなどのセールストークに乗せられて、うかつだった」と省みる。

センターによると、業者は地震や雷といった災害や火事などの話を持ち出して、相手を不安にさせて契約を迫る手口がみられる。注意点として、複数の業者から見積もりを取るなどを挙げ、「訪問販売や電話勧誘販売の場合はクーリングオフができるので、消費生活センターに相談してほしい」と呼びかけている。（福井一基）



「震災の時、あれがいけなかった」などと言われて交換を勧められ、契約した女性宅の分電盤。家族構成なども聞かれ、心配になったという＝8月